



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社トプコン
コード番号 7732 URL <https://www.topcon.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長 CEO（氏名） 江藤 隆志
問合せ先責任者（役職名） 取締役兼専務執行役員（氏名） 秋山 治彦（TEL）03-3558-2532
財務本部長
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月6日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家・メディア向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	105,497	1.0	2,974	△22.4	381	△88.8	61	△89.9
2024年3月期中間期	104,497	1.7	3,830	△59.0	3,395	△64.0	609	△89.9

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △3,743百万円（-%） 2024年3月期中間期 10,433百万円（△21.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	0.58	0.58
2024年3月期中間期	5.78	5.78

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	238,586	104,231	42.9	971.19
2024年3月期	247,029	110,298	43.8	1,027.99

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 102,375百万円 2024年3月期 108,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2025年3月期	—	20.00			
2025年3月期（予想）			—	22.00	42.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	1.6	12,000	7.1	8,000	△9.7	4,500	△8.9	42.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	108,382,642株	2024年3月期	108,322,242株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	2,970,545株	2024年3月期	2,970,328株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	105,377,696株	2024年3月期中間期	105,319,865株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間期における経済環境は、世界的にインフレ圧力が緩和しつつあるものの、11月に控えた米国大統領選挙の動向、長期化するロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の緊迫化等、先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境にあつて当社グループは、『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を経営理念に掲げ、「尖ったDXで、世界を丸く。」をスローガンに、持続可能な社会の実現に向け、医・食・住の諸課題をDXソリューションで解決するグローバル企業として、企業価値向上の実現に取り組んでまいりました。

こうした中で、当中間連結会計期間の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

売上高は、ポジショニング事業は減収となりましたが、アイケア事業は堅調な販売が持続したため、105,497百万円(前年同期と比べ1.0%の増加)となりました。一方で利益面では、円安による為替影響を除いた売上高が前年同期を下回る結果となりましたため、構造改革による固定費削減効果は計画通りだったものの、営業利益は2,974百万円(前年同期と比べ△22.4%の減少)となりました。また、経常利益は381百万円(前年同期と比べ△88.8%の減少)、親会社株主に帰属する中間純利益は61百万円(前年同期と比べ△89.9%の減少)となりました。

(事業セグメント毎の経営成績)

ポジショニング事業は、ICT施工が北米市場における市中在庫の安定化やインフラ需要等により回復基調で推移したものの、国内の測量機で新製品発売が遅延したことや一部製品で市中在庫調整に時間が掛ったことで売上が伸び悩んだことに加え、IT農業では穀物価格下落等による投資抑制の影響を受け、売上が世界的に減速したこと等から、売上高は68,179百万円(前年同期と比べ△2.0%の減少)となりました。営業利益は、構造改革効果は計画通りだったものの、売上高が前年同期を下回ったため、4,059百万円(前年同期と比べ△16.5%の減少)となりました。

アイケア事業では、中国で販売が低調に推移したものの、欧米の大手眼鏡チェーン店向けを中心に堅調な販売が継続したことと円安の恩恵で、売上高は37,105百万円(前年同期と比べ7.7%の増加)となりました。営業利益は、北米の販売体制強化のための人件費やソフトウェア開発費等が増加したものの、売上の増加等でカバーし、1,378百万円(前年同期と比べ8.6%の増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①当中間期の財政状態の状況

当中間期末の財政状態は、総資産が238,586百万円、純資産が104,231百万円、自己資本比率が42.9%となりました。総資産は、主に売上債権や棚卸資産の減少等により、前期末(2024年3月期末)に比べ、8,443百万円減少いたしました。また、純資産は、配当金の支払や為替換算調整勘定の減少等により、6,067百万円減少いたしました。これらの結果、自己資本比率は、前期末(2024年3月期末)から0.9%の減少となりました。

②当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間(6ヶ月)における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、棚卸資産の減少や短期借入金の増加等による「資金」の増加があったものの、仕入債務の減少や固定資産の取得、及び配当金の支払等による「資金」の減少があったことにより、前年度末に比べ、252百万円減少し、16,419百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による「資金」の増加は、5,236百万円(前年同期は3,307百万円の増加)となりました。これは主に、仕入債務の減少や法人税の支払等による「資金」の減少があったものの、売上債権や棚卸資産の減少や税金等調整前中間純利益の計上等による「資金」の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による「資金」の減少は、6,339百万円(前年同期は17,065百万円の減少)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出等による「資金」の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による「資金」の増加は、1,376百万円(前年同期は14,956百万円の増加)となりました。これは主に、配当金の支払等による「資金」の減少があったものの、短期借入金の増加等による「資金」の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日(2024年10月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,623	19,331
受取手形及び売掛金	48,067	45,183
商品及び製品	26,758	25,358
仕掛品	2,084	1,839
原材料及び貯蔵品	28,569	27,167
その他	11,171	11,325
貸倒引当金	△1,723	△1,742
流動資産合計	134,551	128,463
固定資産		
有形固定資産	40,242	41,222
無形固定資産		
のれん	15,764	14,015
その他	25,530	23,767
無形固定資産合計	41,295	37,783
投資その他の資産	30,940	31,117
固定資産合計	112,478	110,123
資産合計	247,029	238,586
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,394	11,695
短期借入金	27,154	31,835
リース債務	3,306	3,143
未払法人税等	3,131	1,683
製品保証引当金	1,791	1,737
1年内償還予定の社債	-	10,000
その他	22,345	23,427
流動負債合計	73,123	83,523
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	1,554	389
リース債務	7,544	6,380
役員退職慰労引当金	20	23
退職給付に係る負債	2,275	2,158
その他	12,211	11,880
固定負債合計	63,606	50,831
負債合計	136,730	134,354

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,837	16,891
資本剰余金	20,739	20,792
利益剰余金	53,151	50,895
自己株式	△3,172	△3,172
株主資本合計	87,556	85,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,579	1,314
為替換算調整勘定	17,810	14,341
退職給付に係る調整累計額	1,354	1,311
その他の包括利益累計額合計	20,743	16,968
新株予約権	63	63
非支配株主持分	1,934	1,792
純資産合計	110,298	104,231
負債純資産合計	247,029	238,586

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	104,497	105,497
売上原価	49,512	49,471
売上総利益	54,985	56,026
販売費及び一般管理費	51,154	53,052
営業利益	3,830	2,974
営業外収益		
受取利息	119	143
受取配当金	18	5
為替差益	588	-
その他	351	220
営業外収益合計	1,078	369
営業外費用		
支払利息	983	1,296
持分法による投資損失	70	62
為替差損	-	674
その他	459	927
営業外費用合計	1,513	2,962
経常利益	3,395	381
特別損失		
減損損失	1,314	-
特別退職金	91	-
特別損失合計	1,406	-
税金等調整前中間純利益	1,988	381
法人税、住民税及び事業税	2,101	445
法人税等調整額	△869	△140
法人税等合計	1,232	304
中間純利益	756	76
非支配株主に帰属する中間純利益	147	14
親会社株主に帰属する中間純利益	609	61

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	756	76
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,039	△264
繰延ヘッジ損益	△14	-
為替換算調整勘定	8,176	△3,496
退職給付に係る調整額	458	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△16
その他の包括利益合計	9,676	△3,820
中間包括利益	10,433	△3,743
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	10,127	△3,713
非支配株主に係る中間包括利益	306	△29

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,988	381
減価償却費	4,694	6,302
のれん償却額	1,029	1,160
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△498	99
受取利息及び受取配当金	△138	△149
支払利息	983	1,296
減損損失	1,314	-
特別退職金	91	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,434	△76
売上債権の増減額(△は増加)	7,288	1,386
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,390	1,404
未収入金の増減額(△は増加)	△344	68
仕入債務の増減額(△は減少)	△677	△3,494
未払金の増減額(△は減少)	△422	△277
未払費用の増減額(△は減少)	△442	213
その他	△3,916	△7
小計	5,126	8,309
利息及び配当金の受取額	138	181
利息の支払額	△963	△1,318
特別退職金の支払額	△91	-
法人税等の支払額	△901	△1,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,307	5,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28	△244
定期預金の払戻による収入	501	177
有形固定資産の取得による支出	△3,668	△2,909
有形固定資産の売却による収入	67	31
無形固定資産の取得による支出	△1,460	△2,218
投資有価証券の取得による支出	△574	△446
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△11,680	-
長期貸付けによる支出	△302	△757
その他	79	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,065	△6,339

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,517	4,757
長期借入金の返済による支出	△129	△41
社債の発行による収入	20,000	-
リース債務の返済による支出	△961	△1,004
配当金の支払額	△2,316	△2,317
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△119	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,956	1,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,203	△525
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,400	△252
現金及び現金同等物の期首残高	14,950	16,672
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,351	16,419

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	ポジショニング 事業	アイケア事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,557	34,316	623	104,497	—	104,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	134	2	143	△143	—
計	69,563	34,451	625	104,640	△143	104,497
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,862	1,269	△91	6,040	△2,209	3,830

(注) 1. 「その他」の区分は、主に精密計測事業及び光デバイス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△2,209百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益の額と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ポジショニング事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、前中間連結会計期間においては1,314百万円であります。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	ポジショニング 事業	アイケア事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,179	37,070	248	105,497	—	105,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	35	0	35	△35	—
計	68,179	37,105	248	105,533	△35	105,497
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,059	1,378	△271	5,166	△2,192	2,974

(注) 1. 「その他」の区分は、主に光デバイス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△2,192百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益の額と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	アジア・オセアニア	その他	合計
海外売上高	36,594	26,307	15,838	7,069	85,809
連結売上高					104,497
連結売上高比(%)	35.0	25.2	15.1	6.8	82.1

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	アジア・オセアニア	その他	合計
海外売上高	39,281	27,808	14,038	6,853	87,981
連結売上高					105,497
連結売上高比(%)	37.2	26.4	13.3	6.5	83.4

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分に所属する主な国又は地域の内訳は以下のとおりであります。

中南米、中東、ロシア、アフリカ

3. 前中間連結会計期間において区分掲記していた「中国」は重要性が減少したため、前連結会計年度末より「アジア・オセアニア」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の〔海外売上高〕の組替を行っています。